令和7年度　学校推薦型選抜試験　出題の意図

関西医科大学看護学部

1.　小論文　50分　［配点］　50点

［意図］今後、看護職になるための学習をする上で、あらゆる場面で評価を受けることとなる。他者評価をそのまま自己評価と捉える危険性、自己評価が過大にも過小にもならず、客観的に自己分析できる力を養うことが自分の未来を豊かにする、ということについて考えて欲しいという意図から出題しており、読解力、創造力、思考力および論理的表現力を問う形式である。

2.　基礎学力試験　　60分　［配点］　100点

3.　面接（個別）　約10分　［配点］　50点

［意図］面接の形態は個別面接で受験者1名に対して面接者3名、面接時間は10分、質問内容は看護職を志望する理由および本学を志望する理由や高等学校で主に取り組んだ内容とそれが今の自分にどのように役立っているかなど本学や看護に対する熱意や意欲などを確認する形式である。

4.　書類審査（出願時に提出）　［配点］　25点

［内容］　調査書（全体の学習成績の状況など）

総合点数［225点満点］